



高等部 自立活動 学習指導案

日 時 平成 11年 3学期 放課後
場 所 高等部 1年 2組教室
指導者 池田利昭
生徒数 2名 (M君、H君)

1 単元名 基本的人権を学ぶ - 独立した人格として生きる喜びを見いだす -

- ### 2 目 標
- ・自身が、かけがえのない大切な存在であることを自覚し、生きる喜びを探求する意欲を高める。
 - ・自分自身の考え方、感じ方、体のあり方が大切な人格の一部分であり、何人にも侵害されるべきものでないことを知る。
 - ・セクシャルライツ (性に関する人権) を学び、将来の社会生活をより豊かなものとするための礎とする。

3 指導にあたって

M君、H君の両名は高等部 1年生で、日常生活に必要な技能はほぼ習得しており、安定した生活を送っている。共に第 2 次性徴期を迎え、異性を意識したり、体の変化に戸惑ったりしている。M君は本校高等部入学前に精通を経験し、病気かと心配になり母親に相談している。性に関する基礎的な知識が不足しており、不安や罪悪感につながっていると思われる。H君は中学部の頃から異性に興味を持ち始め、折り込み広告の女性下着やテレビの性的な場面を明るく楽しんだりしている。

両名に対しては、これまでに場面に応じて基本的人権と性に関する話をしてきたが、授業時間内では、発達段階の違う友達も多くいて、体系的にわかりやすく話をする機会があまりとらなかった。両名が理解しやすい形で具体的な情報を提供できるよう、インターネットを活用して、対話を進めながら性に関する正確な情報と、その根本となる基本的人権について学べるよう支援する。

指導にあたっては、両名の不安や罪悪感を解消するため正確な性の知識をわかりやすく事例をあげて説明する必要がある。また、それぞれの気持ち (知りたくないこと、もっと知りたい等) を大切にし、安心して学ぶことができるよう心がける。自分を本当に大切にすることができてはじめて他者を思いやることができるのであるから、自分の大切な一部分である性的な感情や体の変化を罪悪視したり、卑下したりしないよう明るく前向きに学習できるようにする。また、将来の社会生活を見据え、恋愛、結婚、育児など話題の他、マスターベーションや心と体の健康についても対話を進めてゆく。

以上のことについて家庭と十分に連絡をとりながら学習をすすめ、あらゆる場面で、基本的人権についての理解を深める必要がある。また、教師は一方的に自己の主義主張を押しつけるのではなく、共に学び、子どもに教わるという姿勢が肝要であろう。



4 指導計画

第1次】自分を大切にする	2時
第2次】自分の体と心を大切にする - 性について -	4時 (本時 4/4)
第3次】自分の家族、友達、まわりにいる人々を大切にする	4時
第4次】卒業してからの生き方 - 恋愛と家族について -	4時

5 本時の学習

(1) 題材名 自分の体と心を大切にする - 性について -

(2) ねらい

性的な感情や、異性とのふれあいを求めることが「いやらしい」ことではなく、誰にもある大切な思いであることを知る。

自分の体のしくみ、異性の体のしくみ、性交渉について正確な情報を得ることによって不安や混乱を解消する。

新しい情報を得たことで新たに生じた興味や疑問について、教師に質問すると共にインターネットの検索機能を利用して自分自身で探し出し活用できるようにする。

多くの小、中、高校生が、友達や年長者から教えられたり、社会生活の中で自然に発見する事柄(マスターベーションの方法を教わる、廃品回収の際に大人の雑誌を見つけ回し読みするなど)が、養護学校の生徒にとって不足しがちであるので有用な情報は積極的に提供する。

(3) 準備

インターネットの利用できるパソコン1セット

インターネット回線を延長ケーブルで接続する

あらかじめ利用できそうなホームページをブラウザに登録しておく

(4) 学習場面

窓

手洗い場

口
ツ
カ
|

丸イス

パソコン

廊下



(5) 生徒の様子と本時のねらい

	M君	H君
生徒の様子	<p>【パソコンの利用について】 パソコン、インターネットの利用は大好きで、これまでも興味のある事柄を検索したり、ワープロを利用して文書を書いたりしている。</p> <p>【性と人権について】 性的な事柄に対して怖れや嫌悪感を抱いているようにふるまうことがあり、他人に質問することもためらっている。嫌なことをいわれたりされたりしてもなかなか断ることができず、じっと我慢していることが多い。</p>	<p>【パソコンの利用について】 テレビゲーム、ポケットゲームが好きで画面とマウスカーソルの関係はよく理解できているが、クリックはあまり上手にできない。インターネットは利用できるが、積極的に好きなページを検索することはなく、教師に提示してもらったページを見て喜んでいることが多い。</p> <p>【性と人権について】 明るい性格で人との関わりが大好きであるが、異性に対する接し方がよくわからず不安になることがある。男性教師の胸や尻をさわって喜んでいることがある。</p>
本時のねらい	<p>性的な事柄に対する不安や混乱を解消するため、性行為、射精、マスターベーションについて正確な知識を得て、次の段階への基礎とする。</p> <p>わからないことや不安なことは何でも質問すればよいということを知る。</p> <p>自分の心と体のありかたについて自信と誇りを持ち、将来の生活を楽しみに待つ喜びを知る。</p>	<p>性的な興味を糸口に、異性とのよりよいコミュニケーションや、相手の気持ちを思いやることを学ぶ。</p> <p>性的な欲求に対する不安や罪悪感を和らげ、積極的に自分の生を肯定しようとする意欲を高める。</p> <p>異性に興味を持つことが悪いことではなく、恋愛、結婚などと共に大切なことであることを知る。</p>



(6) 展開

学習活動	生徒の活動、 教師の支援、 評価の視点	
	M君	H君
インターネット利用の準備	パソコンの電源を入れ所定のプロバイダーに回線を接続する H君が困った時にアドバイスを する。 手順がわからない場合は質問するように促す 自信と見通しをもって操作できているか H君に適切なアドバイスが できているか	ブラウザーが立ち上がった たら、マウスを使い方の復習として、いつも見ている大相撲やプロ野球のページを閲覧する。 マウスの操作がわからない時はM君にきくようにうながす。 リラックスできているか うまくいかない時にM君に助けを求めることができるか
性的な情報へのアクセスと友人、教師との自由な会話	H君と交代しマウスを操作する 教師が見てみたいページとしてアイドルやタレントのページをブックマークから開く	水着姿などが映し出されるのを見ながら自由に発言したり、M君に指示を出して次の画面に移ったりする
	教師友人と対話しながら、感想や疑問を自由に話し合う H君はM君に指示して見たい画面に進む 質問に丁寧に答えながら、考えてほしい事項を示唆する ・なぜHな写真は見てはいけないのか ・ちんちんが大きくなることはいけないことなのか等 リラックスして自由に発言できているか 生徒の疑問に適切で正確な答えや解決方法を提示できているか	
必要な情報の検索	疑問に思った事柄や、もっと知りたいと思ったことをブックマークの中や検索サイトから検索する 検索条件の選び方についてアドバイスする 参考になりそうなホームページをブックマークに登録しておく 自由に情報を検索しているか 本当に必要な情報は容易には得られないことを実感できているか	
まとめ 次の課題への導入	本当に知りたいこと、本当に大切なことは何かを考える 基本的人権に関わる性的な権利についてわかりやすく説明する ブラウザーソフトを終了しOSを終了する 次の学習への意欲が高まっているか	